

# 第17回厚別区防犯ネットワーク会議 会議録

## 1 日時・会場

令和5年（2023年）3月27日（月） 10：00～11：30  
厚別区役所 2階 A会議室

## 2 出席者（敬称略）

鈴木 光義（厚別中央地区まちづくり会議）  
波多野 達郎（厚別南まちづくり会議）  
櫻井 進（厚別西地区まちづくり会議）  
栗原 佐外夫（厚別東地区まちづくり会議）  
森井 由見（小学校長会厚別支部）  
清兼 康文（北海道札幌方面厚別警察署）  
小川 直人（札幌市厚別区保護司会）  
吉村 貴敏（北海道コカ・コーラボトリング株式会社）  
小野塚 秀彦（厚別区役所）

## 3 会議内容

### < 1. 開会 >

（省略）

### < 2. 各委員自己紹介 >

（省略）

### < 3. 議事 >

○ 続きまして、議事・報告等に入らせていただきます。

令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画について事務局からお願いいたします。

○ まず、資料2の令和4年度事業報告をご覧ください。

表の左から、防犯ネットワーク会議、厚別区、札幌市／その他機関の3列に分けて整理をしております。

左の列の防犯ネットワーク会議は、当ネットワークの会議や事業について整理したものです。

上から順に説明しますが、昨年の3月16日にコロナ禍で中断していた当会議をウェブ併用にて3年ぶりに開催し、その結果などについては、年度が替わって4月にネットワーク通信（V o 1. 8）として発行しました。

続いて、11月9日には、札幌市役所の出前講座を活用し、「犯罪被害を防ぐ～振り込め詐欺被害に遭わないために～」として防犯講座を実施しました。

そして、一番下ですが、本日、3月27日に第17回防犯ネットワーク会議の開催に至っております。

続いて中央の厚別区の列は、事務局である厚別区役所の取組について整理したものです。

道警及び厚別警察署からのほくとくん防犯メールを基に、特殊詐欺事案などの注意喚起があった場合、事案発生から2週間程度を目安に、区役所内で午前と午後の各1回、館内放送による注意喚起を行ったほか、昨年度に作成した懸垂幕を活用し、防犯に関する普及啓発や注意喚起を随時行いました。

6月には、厚別通小学校と厚別東小学校の2校にて防犯教室を実施しました。こちらの事業は、外部講師を招聘し、クイズや実演、体操や体験型ゲームなどを通じて体を動かしながら練習し、実際に不審者に遭遇したときに役立つ行動力を身につけることが狙いです。予算と講師スケジュールの都合から、毎年2校ずつ計画的に実施することで、厚別区内の小学校の全てで児童が在学中に一度は体験できるように整理したいと考えております。

9月には、厚別北小学校の3年生の総合学習の時間を活用し、地域安全マップの作成支援を行いました。

10月には、安全・安心なまちづくりの日として、戸籍住民課の待合ロビーにあるモニターを活用し、防犯に関するパネル展示を実施したところです。

11月から2月にかけては、交通安全の事業として実施している冬期の除雪作業の妨げともなる路上駐車防止の普及啓発を目的とした迷惑駐車パトロールに協力する形で、青色防犯回転灯と見守りパトロール実施中のマグネットステッカーを装着した厚別区役所の公用車を出動させまして、厚別区内の南地区、西地区、青葉地区、東地区の4地区にて、それぞれ各2回、合計8回の夜間防犯パトロールを実施いたしました。

3月には、資料6のあつべつちいき安全マップのデータを作成し、今年の4月以降、小学校長会を通じてデータの提供などを行ってまいりたいと考えております。

最後に、右の列の札幌市／その他機関についてです。

通年で登録受付などの対応がされる札幌市役所本庁舎の市民文化局区政課による札幌市地域安全サポーターズ参加団体（事業者）申請受付、厚別警察署による青色防犯パトロール講習会のほか、昨年4月から受付を開始しました「ながら見守り」活動登録制度があります。

受付募集の時期が限られるものとしては、資料5の防犯カメラ設置補助金と資料4の子ども110番の家がございます。

以上が令和4年度の事業実施報告となります。

引き続きまして、資料3の令和5年度事業計画（案）をご覧ください。

ただいま報告いたしました資料2の令和4年度事業報告と事業内容はほぼ同じですが、今年は、新たに、皆様のお手元に参考資料として配付しております資料6のあつべつちい

き安全マップを小学校で防犯学習をする際の教材として提供する予定です。

実施時期を除きまして、基本的には、先ほどの資料2で説明した内容と重複するので、割愛いたしますが、左の列の厚別区防犯ネットワークの事業として予定する防犯講演会の実施については、時期、内容ともに未定です。内容が固まりましたら皆様にもご案内いたしたいと存じます。

中央の厚別区の列の6月に予定している防犯教室ですが、今年度は、ノホロの丘小学校と信濃小学校の2校にて実施を予定しております。厚別区を含む中央区、豊平区、清田区の4区合同事業で、外部講師を本州から招聘する関係から、厚別区では毎年2校の実施が限界ですが、子どもたちが生き生きと防犯について学ぶことから、今後も継続したい事業です。

今回の第18回防犯ネットワーク会議は、年明けの2月中旬をめどに開催し、年度内を目標にネットワーク通信の発行をしたいと考えております。

以上で資料2の令和4年度事業報告及び資料3の令和5年度事業計画（案）についての説明を終わります。

○ただいまの事務局からの説明についてご質問等はございませんか。

（「なし」と発言する者あり）

○それでは、引き続き、子ども110番の家登録状況について事務局よりお願いいたします。

○それでは、資料4の札幌市子ども110番の家支援事業登録団体一覧をご覧ください。

こちらの資料は、子ども110番の家支援事業を所管する札幌市市民文化局地域振興部区政課にて作成した資料です。

今年の2月時点において、厚別区内には、小学校、PTA、スクールゾーン実行委員会、町内会など、25団体、956名の登録をいただいております、平成28年2月に事業を開始してから、毎年、登録団体が増えてます。

協力者には、資料の左上にあります赤に白字のSOSのシールを玄関や窓などに掲出いただいております。

子ども達を守る際に、犯罪者という危険な存在と対峙する場面も想定されることから保険の加入が必要になりますことから、毎年7月から9月中旬にかけて、募集、更新の手続きをさせていただいております。登録自体は随時の受付が可能ですが、保険の適用がネックになっており、新たに参加したいというお申し出がありましても、現実的には、次回の募集時期まで待ったほうがよろしいのではという説明をさせていただいているのが実情と聞いてございます。

私からは以上になります。

○ただいまの事務局からの説明についてご質問等はございませんか。

○子ども110番の家の登録についてですが、登録されたところは1年ごとに切替えか何かをしなければいけないのですか。

○継続の意思については、まちづくりセンターの所長などを介して、7月ぐらいの時期に今年はどうされますかと名簿の中の入れ替わりなどはないですかというような意味合いも含めて、毎年、照会をさせていただいているところでございます。

○まちセンから連絡があるということですね。

○まちセン、小学校、町内会など実施主体の事務局として登録されているところに案内があります。

○ほかにご質問等はございませんか。

○SOSのシールの件について、これはすぐに実現しなくてももちろん構わないのですが、シールののり面が裏側にしかないのですよね。お店につけるような場合はそれでも構わないのですが、個人の家には貼るケースが多いものですから、のり面が絵の書いてあるほうにあるパターンもあれば、窓の内側から外に向けて貼れるので、特に冬なんかはすぐにぐちゃぐちゃになってしまうものから、それを一つ検討していただけないかなと思いました。

○大変貴重なご意見をありがとうございます。事業を実施している区政課に申し伝えたいと思います。

○そのほかにごございませんでしょうか。

(「なし」と発言する者あり)

○それでは、続いて、町内会向け防犯カメラ設置補助金のご案内について事務局からお願いいたします。

○資料5の町内会向け防犯カメラ設置補助金のご案内をご覧ください。

これは町内会が道路や公園などに防犯カメラを設置する際に補助をする制度で、平成30年から札幌市役所本庁舎にあります市民文化局地域振興部区政課が所管し、事業を実施しています。

昨年の12月には、町内会や自治会に対して、このチラシを使って令和5年度も募集を継続する旨をPRさせていただいております。

事業内容に特別の変更はなく、カメラ1台あたり18万円で、1町内会あたり8台までの補助となっています。

申請書につきましては、区役所にて受付をし、本庁に取次ぎを行っております。

資料には記載されませんが、令和4年度の速報値とて、全市では21町内会の合計79台、厚別区では2町内会の合計6台に助成されております。

さらに、事業開始からの累計としては、全市では106町内会で310台、厚別区では8町内会で33台のカメラがついていることを確認しています。

私からは以上となります。

○ただいまの事務局からの説明についてご質問等はございませんか。

(「なし」と発言する者あり)

○それでは、引き続き、あつべつちいき安全マップについて事務局からお願いいたします。

○資料6のあつべつちいき安全マップをご覧ください。

こちらの事業は、コロナ禍がしばらく続いたこともあり、昨年、3年ぶりに厚別北小学校において実施し、これまでのノウハウを冊子データという形で整理したものです。

予算的な関係もあり、印刷物としての全面的な配付というのは今のところ予定しておりませんが、小学校長会を通じてデータの提供をさせていただきたいと思っています。一方で、それぞれの学校から相談があった際には、予算の許す範囲で冊子の作成も検討が必要となってくるかとも考えております。

私からは以上でございます。

○ただいまの事務局からの説明についてご質問等はございませんか。

(「なし」と発言する者あり)

○小学校長会でも皆さんにアピールしたいと思います。

それでは、以上で議事・報告等は全て終了となりますが、通して何かご質問等はございませんでしょうか。

○私は、少年消防クラブの部長をやっていて、毎年、地域のいわゆる危険な箇所の防災探検隊として、周囲を2時間ぐらいぐるっと回っているのです。そして、あそこは水が来たときに危ないよとか、後で反省会をしているのですね。これは消防のほうなのかなと思うのですけれども、そんなことで、子どもを4人連れて、私を含めて5人編成で2時間ぐらい回ったのです。

去年は、厚別消防署西出張所から厚別通小学校をぐるっと回って、西友の裏を通って帰ってきて、西出張所で皆さんから発表してもらって、それに基づいて、いわゆる防災のマップをつくりました。それも何か関係あるのかなと思ったのですが、去年は厚別西地区だったのですけれども、今年は厚別北地区を重点的にパトロールしたいなという計画で進んでいるところです。

○防犯に加えて、防災というのもかなり大事な事かなと思います。少年消防クラブについては、きっと存在する学校とそうでないところがまだありますよね。小野幌にはなかったような気がいたします。

○厚別には、四つのクラブがあるのですよね。私のところは厚別西少年消防クラブですけれども、このほかに、厚別中央しなの少年消防クラブと厚別南少年消防クラブ、そして、もう一つあるのです。

○学校としてもそのような活動を連携しながら進めていけたらいいかなと思っていますので、情報を共有してまいりたいと思います。

そのほかにご覧いただけますか。

○私からも1点ありまして、大谷地にバスケのレバンガ北海道の本社があるのですが、マスコットキャラクターのレバードの画像を提供しますので、防犯グッズなどで何かコラボできることがあったら言ってくださいと言われております。

例えば、既製品の防犯の旗を使っていて、毎年、発注等をする予算があるようなところ

や、活字だけの防犯の旗で、毎年、100枚、200枚といった単位で印刷しているようなところがあれば、そこにレバードのデザインを提供してくれるということで連携できないかという相談を受けたのですが、こういう話を厚別区全体に持ってくる機会がなかなかないのでよね。うちの厚別南町内会連合会では、事業化に向けて、今まさにそういう話をしているところですけども、あくまでもそれは厚別南だけで動いている話なのです。せっかく厚別区の球団でもありますし、見栄えも変わってくると思いますので、どちらにとってもいい方向で動いていただけたらなと思うのですね。皆さんにご検討いただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

○今いただきましたお話は、デザイン画などをご提供いただけましたら、今後発行します防犯ネットワーク通信やホームページにアップしてPRさせていただきたいと思うのですが、よろしいでしょうか。

○よろしくをお願いします。

○ほかにございませんか。

(「なし」と発言する者あり)

○たくさんのご意見をありがとうございました。

それでは、議事・報告等を終了いたします。

#### < 4. 各団体の活動報告等 >

○最後に、それぞれの団体で取り組まれている事柄についてご報告をいただきたいと思います。特に子どもの防犯に関して何か特別な課題等がありましたら、併せてお伝えいただければと思います。よろしくお願いたします。

○私は、中央町内会連合会の青パト隊の隊長をやっていて、厚別地域のほとんどを回るのでね。うちの町内会では、月、水、金の3日については、各町内会に割り当てて出ているのです。そして、ほくとくん防犯メールなんかを見て、うちの町内は何もなかったなと毎日のようにほっとしているところなのです。

また、三、四年ぐらい前になろうかと思いますが、冬の間や夏休み期間にサンピアザの商業施設の中で盗撮問題がありまして、そのときに、私たち青パト隊としても商業施設中のエレベーターや改札口などを見て回ったことがあるのですね。我々は緑のジャンパーぐらいしか持っていないものですから、その辺も考えていただいて、こういうところに立つときはこういうものを着なさいよというアドバイスでもあればいいのかなと思います。

ここ三、四年ぐらいは警察から何かを言われたことはないのですが、そのときには警察から指示があったものですから、商業施設の中において、もう少し啓発活動をしてもいいかなと思っています。

○私は、もう十数年、緑のおじさんをやっています。この間、小学校1年生くらいの頃から見ていた子どもたちが成人の日を迎えまして、たまたまちらっと顔を出したら色々な人に声をかけられて、長く見守り活動をしているとこういういいこともあるのだなんて思

って、感慨にふけていたのですね。

その子どもの登校時の見守りについて、校長先生がいらっしゃるから、せっかくなので感じていることをお伝えしたいのですけれども、最近、昔と比べて車で送迎してこられる親御さんが目立つようになっています。この十数年間で大きく変わったこととして、自分の足で来るのではなく、車で送られてくる子が圧倒的に増えている気がするのですね。ですから、私は見守り活動の初歩の初歩ですけれども、学校側とも連携して、朝、子どもと一緒に歩いて登校するという啓発をもう少しできないかなと思っています。多分、これは先生方なら肌で感じていらっしゃると思いますが、子どもの安全を担保したいと言って車で送ってくるという気持ちも分からないではないのです。ただ、子ども目線で子どもと一緒に歩いて、ここは危ないよと言って道を渡る、それこそが見守り活動の第一歩なのかなと感じているのです。今、札幌市でも、ながら見守りという形で、どこがやっているのかは分かりませんが、みまもりすというキャラクターをつくって、ようやく去年ぐらいからやっていますよね。ただ、私は、そういうキャラクターももちろん大切ですが、車で送迎するというより、毎日、子どもを歩いて迎えに行ったり、歩いて送ったりすることのほうが目立ってほしいなと心から思っているのです。

私自身も、小学校1年生の長男と同級生を巻き込んで一緒に歩いて登校していくうちに、いつの間にか緑のベストを着て地域の見守りをしていたという経緯があるのです。ですから、子ども目線で通学路の安全を確保するという親御さんの理解をぜひ広げていただけたらなと思います。

○私の町内会は、全てマンションで約1,000戸が入っているのですけれども、町内会のおやじさん方でグループをつくりまして、子どもが戻ってくる3時から4時ぐらいにそこを3人か4人でふらふらしようやという程度でやっているのですよね。小学校では、玄関の左側の壁に町内会の役員の顔写真を貼っているのですよ。ですから、子どもは毎日見ているのかなと思ったのですが、意外と見ていなかったのですね。私は、夏休みのラジオ体操をやったときに、5年生の女の子に玄関のところにあるおじさんの顔の写真は見たことがあるかと聞いてみたのですが、知らないと言うのですよ。翌日に行って見たらちゃんとありましたということでしたが、そんなことで、小学校と町内会が連携しまして、子どもたちの安全を守るためのパトロールということで、定期的に3時から4時に活動して、遅くても5時までには終わっているという状況です。

特に私が心配しているのは、公園があるのですけれども、そこは木が結構生えていて、夏になると公園の中がよく分からなくなってしまうのです。ですから、私は、年に1回、必ず厚別の土木センターに行きまして、公園の木の邪魔な部分を切って、透けて見えるような状態にしていきたいとお願いしているのです。おかげさまで、うちの厚別西地区、北地区では、今のところ変な問題はないので安心しているのですけれども、テレビを見ても変な者がおりますから、いつどうなるかは分かりません。いずれにしてもパトロールだけは続けていきたいなと思っています。

ただ、町内会の年間行事には、パトロールをしますということは一切書いていません。要するに、町内会の有志で町内をふらふら歩こうやということです。その裏には、子どもたちの安全・安心な登校の一助になればということがあって、動いております。

○町内会として、毎週火曜日に生徒の下校時間に合わせて役員と防犯部の5人体制で防犯パトロールを行っております。また、これとは別に、老人クラブの人には、毎週金曜日にパトロールをしてもらっております。この活動は、もう十数年も続いておりますが、今後とも継続していきたいと思っております。

さらに、近くに公園があるものですから、夏休み期間中だけ朝6時半からラジオ体操を行っております。参加者は、毎日、100名ぐらいで、子どもにもたくさん来てもらっております。

それから、町内会では、6月の上旬に花いっぱい運動として幹線道路の脇に1、500株の花の苗を植え付けております。この際にも小学生と中学生の生徒にはたくさん参加していただいて、ありがたく思っております。

○皆様、各種防犯活動に積極的に取り組んでいただきまして、誠にありがとうございます。警察だけではできないことも多々ございますので、積極的なパトロールと啓発活動、登下校時の見守り活動などを継続してやっていただけたらと思います。ぜひともよろしく願います。

それでは、警察からは、まず、統計についてご報告をさせてもらいたいと思います。

一つ目は、刑法犯の認知件数です。2月末時点の数が出ておりますので、ご報告させていただきます。

全道の数については、令和4年が2,086件、今年の令和5年が2,505件ということで、419件の増加となっております。

続きまして、厚別警察署管内も、令和4年が66件、令和5年が73件のプラス7件と、昨年から比べると増加傾向にございます。

今後、暖かくなって活動期になると増加することが懸念されますが、皆様と連携して各種抑止対策を継続してやっていきたいと思っておりますので、よろしく願います。

次に、警察において最も懸念している犯罪の特殊詐欺についても数が出ておりますので、ご報告したいと思います。

全道の令和4年の数は、認知件数が28件、被害額が2億5,101万8,062円でしたが、今年は若干減りまして、認知件数が20件、被害額が5,255万2,321件と、件数では8件の減少、被害額では約5分の1に減少しておりますが、今後の発生も非常に懸念される場所ですので、皆さんには、ぜひとも特殊詐欺被害防止対策をしていただきたいところです。

警察としては、一般の皆様の固定電話を留守番電話設定にすることと、ランプの色で不審電話を知らせたり、「このメッセージは録音しています。」という予告のメッセージを最初に流す特殊詐欺被害対策電話の購入、設置を促進しておりますので、住民の皆様にも



ぜひお伝えしていただければと思います。よろしく申し上げます。

続いて、先ほどもお話がありました。防犯カメラの設置は、警察においても設置促進をさせてもらっております。監視の目が増えれば、犯罪が起きにくい地域づくりにもつながりますので、ぜひ市役所の設置補助金の促進事業を有効活用して、防犯カメラを一台でも多く設置していただけたらと思います。

また、設置申請の前段階では、警察において、どういった画角が一番いいのか、住民のプライベートの部分映さないようにするにはどういう設置がいいのかということについて、ご協力をさせてもらっております。有効に活用するためにはどうすればいいかということも相談していただければ、お答えをさせていただきますので、ぜひともご検討をよろしくお願いいたします。

それから、これは毎回お願いしていることですが、皆様からの積極的な情報提供と110番通報をぜひともよろしくお願いいたします。地区の住民だけで終わってしまっているようなことがあったら、我々警察としても犯罪を防ぐことができませんので、不審な情報や犯罪なのではないだろうかという断片情報でも構いませんので、警察まで一報をしていただければと思います。

さらに、不審者情報については、今まで警察からほくとくん防犯メールで皆様にお知らせをしていたところです。これは登録しないと見ることができないのですが、実は、1月から不審者情報が何件かございまして、お子様に「かわいいから写真を撮らせて」と声をかけたり、帰宅途中の女性が後ろを付きまといわれたり、公然わいせつの事件も防犯メールで発信しておりますので、ぜひ登録をし、確認していただけたらと思います。

さらに、北海道警察の「北海道警察のほくとポリス」というアプリが新しくできまして、これは、スマートフォンでしたら無料でダウンロードをし、利用できるものです。ほくとくん防犯メールもこのアプリで読むことができますし、防犯マップという不審者情報のあった位置を地図に落としたものも見ることもできます。また、お子さんの場所を確認するのに有効なGPSや、女性がやめてくださいとなかなか声に出せないときに押すと「やめてください」や「痴漢です」という大きい音が出たり、痴漢撃退ブザーが鳴るなど、色々な機能があります。北海道警察でつくっているものですので、ぜひともこのアプリのダウンロードと活用についてご検討いただければと思います。

○厚別区保護司会から報告させていただきます。

私どもの活動は、刑務所や少年院から出てこられた方の更生保護として、社会での自立ですとか、再犯をさせないための手助けをするボランティアが主でございしますが、社会を明るくする運動を展開する中で、防犯の啓発活動も行っております。

具体的には、7月が推進月間になっておりますので、区民センターに懸垂幕を下げて啓発活動をさせていただいたほか、サンピアザのおまつり広場において、厚別区や厚別警察署と合同で、ほくとくんやピカットくん、うちのキャラクターも入れて、区民の皆さんに防犯に対する啓発活動をやらせていただいております。

それから、小学校、中学校の生徒の皆さんに作文コンテストをお願いしております、これは、毎年、7月から8月に展開しております。小学生、中学生の皆さんにも、防犯に関することや、今、学校の中ではいじめなどがなかなかなくなっていくような状況になっていきますので、そういった意識も含めて持ってもらおうということで、毎年、作文コンテストをやっておりますので、引き続きご協力をお願いしたいなと思います。

さらに、これは町内会の皆さんにもご協力をいただいているのですが、年に1回、区民センターで公開セミナーを行っております。去年は、DVの関係のセミナーを行いました。一般の方も参加できますし、今年もまた企画する予定になっていますので、ぜひご参加いただければありがたいなと思います。

また、今年は、このところ中止になっていた区民まつりが開催されるという情報が入っております。そうしたたくさんの方が集まる場所でも防犯に関する啓発活動を進めたいと思いますので、ぜひ皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げまして、報告に代えさせていただきます。

○弊社については、現在、大谷地団地の公園施設に防犯カメラを取り付けさせていただいて、現在、厚別区様とパートナー協定を結ばせていただいています。

昨年までの活動としては、コロナの関係も踏まえて、自動販売機の設置や、防犯の啓発活動になかなかご協力できていなかったかなと思っています。

先ほど、防犯カメラの設置補助金のお話がありましたが、自動販売機は、ここ最近では電気料の値上げ等々もありますけれども、過去には、周りを非常に明るく照らすものですし、防犯にもつながることから設置されているところもありました。ですから、プラスアルファで防犯カメラの設置もセットでご提案をさせていただいていますので、地域において、ここは治安的に非常に心配なのだ、懸念があるのだというところがあれば、併せてご相談をいただければと思います。飲料の販売にひもづく形にはなりますが、今年はそうした活動で何かしらのご協力できれば幸いかなと存じますので、ぜひよろしくお願ひします。

○昨年のこの会議は、この会議室にお集まりの方々とオンラインで参加の方々の併用で行ったのですが、今年につきましては、こうして皆様が一堂に会して会議ができたこと、そして、コロナはまだ完全に収束しておりませんが、大分状況がよくなってきたことを感慨深く思います。

コロナの状況が落ち着いてきていることもあり、イベントなどもだんだん開催されつつあります。昨日までちょうどオープン戦をやっておりましたが、北広島にエスコンフィールドができて、新札幌駅の横のところにシャトルバスの発着場ができております。昨日までのところ特に目立った混乱はなかったと聞いておりますが、これから入場者が増えてまいりますと、人出が多くなり、試合の結果によっては興奮された方々なんかも出てくるのかなと懸念しているところであります。

また、新さっぽろ駅周辺では、今、病院がもう既にできておりますし、この秋には、商業施設やホテル、それから高層マンションなども完成し、まち開きが予定されております。

そうした中で、人が多くなると犯罪が起きやすい状況になると思いますので、皆様方のご協力をいただきながら、厚別区といたしましても安心・安全なまちにしていきたいと思っております。引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

○小学校では、年度初め、学期初めの交通指導日ということで、3日ほど教職員と一緒に下校する形で子どもたちの見守りをしております。

また、年度初めの4月、5月ぐらいに交通安全教室を開いて、子どもたちに交通安全についての啓蒙をしております。

さらに、年間で数回ではありますが、避難訓練を行っておりまして、その1回は必ず防犯訓練にして、学校に不審者が入ったときにどのように対応するかということを警察の方とも連携しながら子どもたちに教えているところです。

それから、スクールゾーン実行委員会も、皆様に集まっていただき、ようやく今年度から実施することができまして、地域の皆様方と危険箇所を確認しながら各家庭にお知らせしていくこともできるようになってまいりました。

また、連携している厚別区のほかの学校と不審者情報を共有しておりまして、安心・安全情報という形で、家庭にお知らせのプリントを配っております。

最期に、学校では、4月から子どもたちにも教職員にもマスク着用を求めない教育活動がスタートする予定でございます。子どもたちにとってもまた違う形の不安もありつつの教育が始まるのかなと感じておりますが、地域の皆様とも連携しながら子どもたちが安心して通える学校づくりをしてまいりたいと思っておりますので、ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

それでは、全ての皆様からの報告が終わりましたが、報告に対して何かありますでしょうか。

○先ほど防犯カメラの話が何度か出ていましたが、去年、うちの町内会も6台つけたのです。しかし、その6台の管理費が年間4万円ぐらいかかるということなのですね。これは、防犯カメラが増えたら管理費はもっと上がるのですよね。今のところうちの町内会でも払えるのですが、台数を増やすことによって管理費が増えたらどうなるのかなと思うのですよね。

○今の件について事務局からご回答はございませんか。

○市役所本庁舎の区政課によるカメラの設置補助事業で、電気代を含めた維持管理の経費は対象となっておりますので、町内会において維持管理できる範囲も見ながらの設置をご検討いただけますようお願いいたします。

○このチラシにも維持管理費用は町内会の負担となりますと確かに書いてございますね。

○書いてあるのは分かるのです。台数が増えたらそれがもっとも上がるのであれば、維持管理費の支払いが難しくなる町内会も出てくるのではないかなと思うのです。

○情報をありがとうございます。皆様で検討していただけたらと思います。

そのほか、全体を通して何かありませんでしょうか。

○今は特殊詐欺の事案が右肩上がり微増していますよね。

○昨年は過去最悪の件数でございました。今年に入ってからもなくなっておられません。昨年と比較すると上り方は若干緩やかではありますけれども、これで満足しているわけではございませんので、抑止したいと思っております。

○これは防犯ネットワーク会議で提案する話なのかどうか分かりませんが、私は、ネットワークや技術の専門の仕事をしているものですから、2024年には、昔からあるINSと一般加入電話が廃止になって、いわゆるIP電話網になるはずなのですね。

IP電話網というのは、基本的に、到着地と発信地が必ず、昔の盗聴ではないですけども、ああやって調べなければならないようなものではなくて、足がつくと言うと変なのですけども、今はそういうタイミングに差しかかっているなと思っております。

それで、先週、番号が通知されない相手に対して、通知してくださいと促す有料のサービスが70歳以上から無料になっているはずなのです。実は、電話会社からしてみれば大した負担ではないものを有料にしていまして、もう少しその辺を啓発して加入が進んでいけば、特殊詐欺の予兆電話はかなり減らすことができるのではないかと常々思っているのですよね。一般加入電話が廃止になった後の防御策として、そういったことを道警からももう少しアクションして、とにかく予兆電話を撲滅していただきたいなと心から思うのです。多分、予兆電話があるから特殊詐欺に発展しているという認識で間違いないと思うのですが、去年は札幌でも予兆電話が物すごくかかっていましたよね。あれを見ていてすごく痛々しく思っていたのです。言ってみれば、そこから小さな芽を潰していくことができれば、詐欺も減らせるのではないかなと思っておりますので、ぜひ一般加入電話の廃止のタイミングで電話会社と連携していただけたらなと思います。

○それでは、これにて各団体の活動報告等は終了といたしまして、進行を事務局に戻したいと思っております。どうもありがとうございました。

#### < 5. 閉会 >

○皆様の活発なご意見により、有意義な会議になったのではないかと思います。ありがとうございました。

それでは、これをもちまして、第17回厚別区防犯ネットワーク会議を終了いたします。

(文責：厚別区市民部総務企画課)